



ピックアップ 地域経済

雇用に一服感

熊本の経済指標の中から注目の動向について取り上げます。

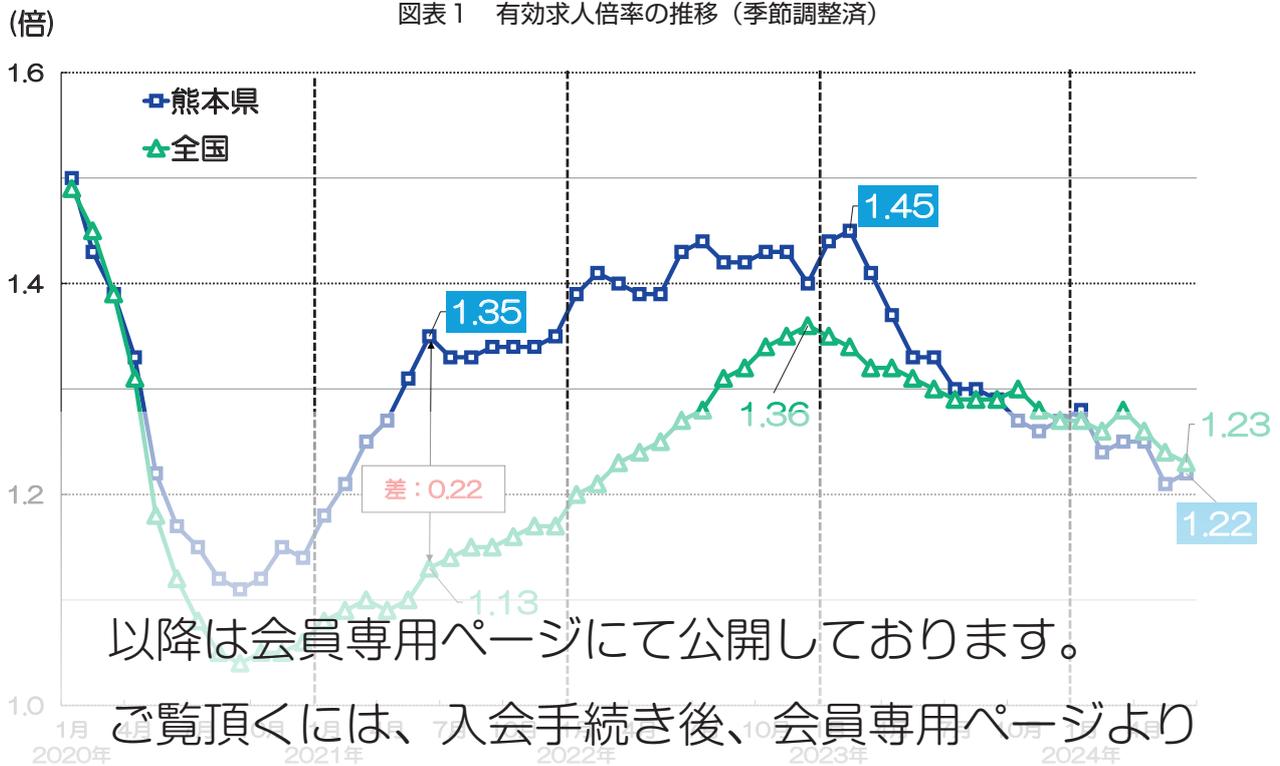
1 有効求人倍率の変動

全国と熊本県の有効求人倍率（季節調整済）は、2020年3月から9月にかけては、新型コロナウイルスの影響により低下したものの、2024年6月まで一貫して1倍以上で推移している（図表1）。

2021年には全国の有効求人倍率との差が拡大し、7月にはその差が最も大きくなった。同年は、半導体関連企業の進出や2020年7月に発生した人吉・球磨地域での豪雨災害からの復興需要も重なり、熊本県は特有の動きを見せた。その後、熊本県では2023年2月に有効求人倍率が1.45倍、全国では2022年12月に1.36倍となり、コロナ禍以降で最も高い水準となった。

2023年7月以降は、熊本県と全国の有効求人倍率の差は縮まり、2023年後半から現在にかけて全国と同水準で推移している。

図表1 有効求人倍率の推移（季節調整済）



以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより

資料：熊本労働局

アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)